



販売用資料 2021.7

アイルランド籍オープンエンド契約型外国投資信託 クラスA(米ドル)受益証券/クラスA(円)受益証券 クラスA (豪ドル) 受益証券/クラスA (NZドル) 受益証券

お申込みの際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは



商号等

株式会社SMBC信託銀行 登録金融機関 関東財務局長(登金)第653号加入協会 日本証券業協会、一般社団法人 日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、 一般社団法人日本投資顧問業協会、

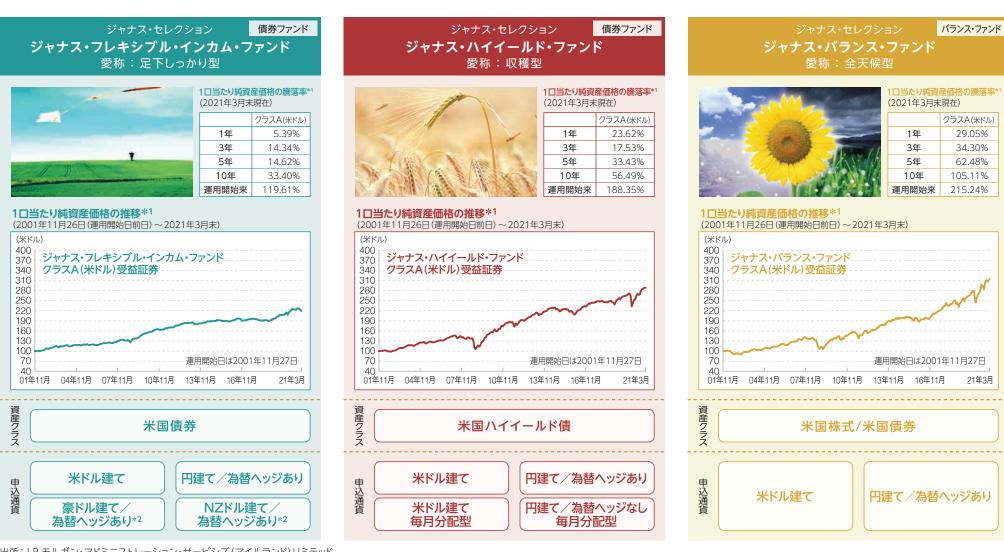
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ヘンダーソン・マネジメント・エスエー

管理会社

# ジャナス・セレクションのご紹介

ジャナス・セレクション各サブファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンドの各アンダーライイング・ファンドに投資します。



出所: J.P.モルガン・アドミニストレーション・サービシズ (アイルランド) リミテッド

- \*1「1口当たり純資産価格の騰落率」および「1口当たり純資産価格の推移」は、管理報酬およびその他の費用控除後の値であり、購入手数料は含まれていません。
- \*2 ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド、ジャナス・マルチセクター・インカム・ファンド、ジャナス・フォーティ・ファンドのクラスA(豪ドル)受益証券及びクラスA(NZドル)受益証券の運用開始日は2021年7月20日です。
- ■過去の運用実績は将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。



# 株式ファンド ジャナス・フォーティ・ファンド 愛称:ノアの箱舟 厳選型



|口当たり純資産価格の騰落率\*1 (2021年3月末現在)

	クラスA(米ドル)
1年	60.22%
3年	80.44%
5年	144.83%
10年	296.41%
運用開始来	440.11%

1口当たり純資産価格の推移\*1 (2001年11月26日(運用開始日前日)~2021年3月末)





株式ファンド ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンド 愛称:大地の実り型



口当たり純資産価格の騰落率\*2 (2021年3月末現在)

(2021年3/3/196年)		
	クラスA(米ドル)	
1年	32.08%	
3年	28.80%	
5年	49.07%	
10年	89.49%	
運用開始来	141.12%	

1口当たり純資産価格の推移\*1\*2



グローバルREIT/世界不動産関連株式

申込通貨 米ドル建て 四半期分配型

資産クラス

円建て/為替ヘッジあり 四半期分配型

出所: J.P.モルガン・アドミニストレーション・サービシズ (アイルランド) リミテッド

- \*1「1□当たり純資産価格の騰落率」および「1□当たり純資産価格の推移」は、管理報酬およびその他の費用控除後の値であり、購入手数料は含まれていません。
- \*2 ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンドの「1口当たり純資産価格の騰落率」およびグラフ中の「1口当たり純資産価格(課税前分配金再投資)」は、管理報酬およびその他の費用控除後の1口当たり純資産価格に課税前分配金を 再投資したものとして算出しており、購入手数料は含まれていません。
- \*3 ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド、ジャナス・マルチセクター・インカム・ファンド、ジャナス・フォーティ・ファンドのクラスA(豪ドル)受益証券及びクラスA(NZドル)受益証券の運用開始日は2021年7月20日です。
- ■過去の運用実績は将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

# ジャナス・セレクションのご紹介

### ジャナス・セレクションのラインナップが増えました!

ジャナス・マルチセクター・インカム・ファンドおよびジャナス・グローバル・ライフサイエンス・ファンドはSMBC信託銀行のみで購入できるファンドです。

ジャナス・グローバル・ライフサイエンス・ファンドの運用開始日は2021年8月17日です。詳しくは投資信託説明書および別冊の販売用資料をご覧ください。



出所: J.P.モルガン・アドミニストレーション・サービシズ (アイルランド) リミテッド

- \*1「1口当たり純資産価格の騰落率」および「1口当たり純資産価格の推移」は、管理報酬およびその他の費用控除後の値であり、購入手数料は含まれていません。
- \*2 ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド、ジャナス・マルチセクター・インカム・ファンド、ジャナス・フォーティ・ファンドのクラスA(豪ドル)受益証券及びクラスA(NZドル)受益証券の運用開始日は2021年7月20日です。
- ■過去の運用実績は将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

# ジャナス・セレクションの各ファンド間、各通貨間でスイッチングが可能です。

スイッチングは、受益者が保有するクラス受益証券の換金(買戻し)と他のクラス受益証券の申込みを一括して行う取引です。

# スイッチング可

# ジャナス・セレクション ラインナップ

	7 17 X CD 7 7 3 7 1 2 7 7 7 7 7					
		申込通貨				
		米ドル建て	円建て/ 為替ヘッジあり	円建て/ 為替ヘッジなし	豪ドル建て/ 為替ヘッジあり*1	NZドル建て/ 為替ヘッジあり*1
	<u>債券ファンド</u> ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド 愛称:足下しっかり型	0	0	_	0	0
<b>&gt;</b>	<u>債券ファンド</u> ジャナス・マルチセクター・インカム・ファンド 愛称:剣と盾型	0	0	_	0	0
<b>&gt;</b>	<u>債券ファンド</u> ジャナス・ハイイールド・ファンド 愛称:収穫型	0	0	_	_	_
スイ	<u>債券ファンド</u> ジャナス・ハイイールド・ファンド (毎月分配型) 愛称:収穫型	0	_	0	_	_
ツチン	バランス・ファンド ジャナス・バランス・ファンド 愛称:全天候型	0	0	_	_	_
<b>グ</b> 可	株式ファンド <b>ジャナス・ストラテジック・バリュー・ファンド</b> 愛称:みにくいアヒルの子型	0	0	_	_	_
<b>&gt;</b>	株式ファンド ジャナス・フォーティ・ファンド 愛称:ノアの箱舟厳選型	0	0	_	0	0
<b>&gt;</b>	株式ファンド ジャナス・グローバル・ライフサイエンス・ファンド*2 愛称:アスクレピオスの杖型	0	0	_	_	_
	株式ファンド ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンド 愛称:大地の実り型	0	0	_	_	_

- \*1 ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド、ジャナス・マルチセクター・インカム・ファンド、ジャナス・フォーティ・ファンドのクラスA(豪ドル)受益証券及びクラスA(NZドル)受益証券の運用開始日は2021年7月20日です。スイッチングは運用開始日 以降可能となります。
- \*2 ジャナス・グローバル・ライフサイエンス・ファンドの運用開始日は2021年8月17日です。スイッチングは運用開始日以降可能となります。

# ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド

愛称:足下しつかり型

# 証券に投資することのリスク

為替リスク

金利リスクおよび信用リスク

【リスクは上記に限定されるものではありません。詳しくは】 ↓投資信託説明書(交付日論見書)を必ずお読みください。

# ファンドの主な特徴

# 当ファンドは、アンダーライイング・ファンド\*への投資を通して、米国債券を実質的な主要投資対象とします。

- 主として米国の債券に投資し、利子収入と値上がり益の獲得による、トータル・リターンの最大化を目指します。
- 市場環境の変化をとらえ、米国の国債、モーゲージ債、投資適格社債、ハイイールド債などへの投資比率を 機動的に変更します。
- 独自のポートフォリオ分析と徹底したリスク管理により、投資リスクを低減しつつ、長期的に安定した信託財産 の成長を目指します。
  - \* 当ファンドのアンダーライイング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・フレキシブル・インカム・ファンドです。



# パフォーマンス

# ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド クラスA(米ドル)受益証券 1口当たり純資産価格の推移\*1



- 2001年11月 2004年11月 2007年11月 2010年11月 2013年11月 2016年11月 2019年11月 2021年3月 \* 運用開始日は2001年11月27日
  - \*1 1□当たり純資産価格は管理報酬およびその他の費用控除後の値であり、購入手数料は含まれていません。

# ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド クラスA(米ドル)受益証券 年間収益率(費用控除後)

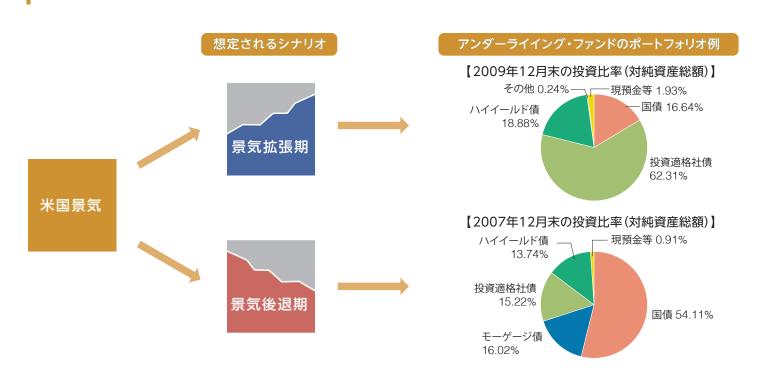
•	年間収益率	年間標準偏差
2002年	9.48%	4.63%
2003年	5.36%	5.55%
2004年	2.77%	4.06%
2005年	0.91%	3.26%
2006年	3.34%	2.63%
2007年	5.74%	2.86%
2008年	4.10%	7.12%
2009年	12.46%	3.22%
2010年	6.51%	3.06%
2011年	5.70%	2.86%
2012年	6.78%	2.09%

	年間収益率	年間標準偏差
2013年	-1.01%	3.10%
2014年	3.93%	2.50%
2015年	-0.75%	2.65%
2016年	1.55%	3.32%
2017年	2.57%	1.42%
2018年	-1.80%	2.33%
2019年	8.28%	3.19%
2020年	9.51%	5.82%
2021年3月末*2	-3.62%	-
運用開始来 (年率)* <sup>3</sup>	4.09%	3.75%

年間収益率は税引き前です。

標準偏差とは、ある測定期間内のファンドの平均収益率から各収益率(例えば、年間収益率等)がどの程度 離れているか(すなわち偏差)を求めることによって得られる統計学上の数値です。この数値が高い程、ファンドの 収益率の変動幅(リスク)が大きくなります。

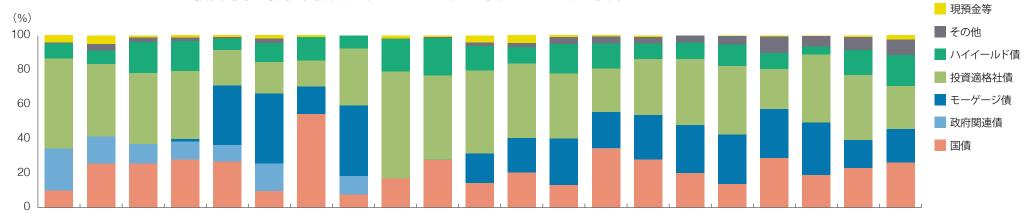
- \*2 1年未満の期間の標準偏差は算出していません。
- \*3 2001年11月26日(運用開始日前日)~2021年3月末
- ■過去の運用実績は将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。 出所: J.P.モルガン・アドミニストレーション・サービシズ (アイルランド) リミテッド



景気拡張期には、投資適格社債、 ハイイールド債への投資比率が高く なり、景気後退期には、国債、モー ゲージ債への投資比率が高くなる 傾向があります。

左ポートフォリオ例は、情報提供を目的として おり、今後の景気や市場の展望を示唆または 保証するものではありません。

# アンダーライイング・ファンド投資比率の推移(対純資産総額、2001年12月末~2021年3月末)



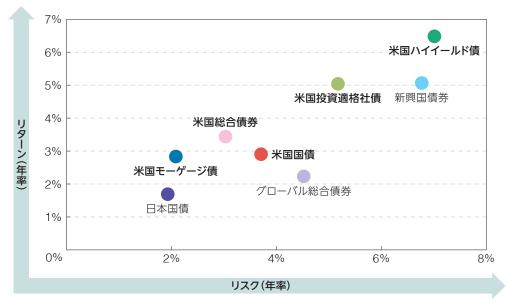
2001年12月 2002年12月 2003年12月 2003年12月 2004年12月 2005年12月 2005年12月 2006年12月 2007年12月 2008年12月 2008年12月 2009年12月 2010年12月 2010年12月 2011年12月 2012年12月 2013年12月 2014年12月 2015年12月 2016年12月 2017年12月 2018年12月 2019年12月 2020年12月 2021年3月

バンクローンは2013年11月以前は「その他」に区分していますが、2013年12月以降は「投資適格社債」および「ハイイールド債」の区分に組み入れて計算しています。

■過去のデータは将来の投資成果、傾向、数値などを示唆・保証するものではありません。 出所:ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ

# 過去10年間の主な債券指数のリスク・リターン

# (2011年3月末~2021年3月末)



出所:米国総合債券:ブルームバーグ・バークレイズ米国総合債券インデックス

米国ハイイールド債:ブルームバーグ・バークレイズ米国コーポレート・ハイイールド・インデックス

米国投資適格社債:ブルームバーグ・バークレイズ米国投資適格社債インデックス

米国モーゲージ債:ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス

新興国債券:ブルームバーグ・バークレイズEMハード・カレンシー総合インデックス

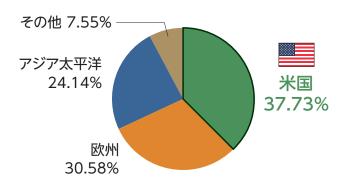
米国国債:ブルームバーグ・バークレイズ米国国債インデックス

日本国債:ブルームバーグ・バークレイズ日本国債インデックス

グローバル総合債券:ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合債券インデックス

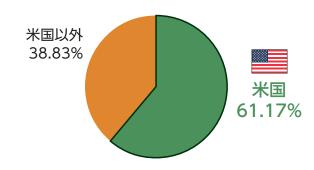
日本国債は円ベース、その他は米ドルベース(すべてトータル・リターン)

# 世界の債券市場の国・地域別構成比率(2021年3月末現在)



出所: ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合債券インデックス 米ドル時価総額ベース

# 世界のハイイールド社債市場の国・地域別構成比率(2021年3月末現在)



出所: ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル・ハイイールド・コーポレート・インデックス 米ドル時価総額ベース

- ▼ 複数の種類の債券を組み合わせることで、リスクを低減し、安定した収益の 獲得を目指すことができます。
- ☑ 世界の債券市場の中で、米国は最大のシェアを占め、投資機会が豊富に 存在します。

# 米国の主な債券の特徴(一般的なイメージ図)

債券の種類	景気拡張期	景気後退期	特一徴
<b>米国国債</b> 政府が発行する債券			● 高い信用力と流動性
米国 モーゲージ債 住宅ローン債権を担保とし、 多くは政府系機関から保証 または発行される証券			<ul><li>期限前償還リスクがある ため、国債より高い利回り</li></ul>
米国 投資適格社債 投資適格の格付け (BBB格相当以上)の社債			<ul><li>信用リスクがあるため、 国債より高い利回り</li></ul>
米国 ハイイールド債 信用力が比較的低い (BB格相当以下)社債		33	<ul><li>高い利回りが期待できる 反面、価格の変動も大きい</li></ul>

上記は、債券の概要に関する説明の一部であり、全てを網羅したものではありません。格付けはスタンダード・アンド・ プアーズ社の表記方法で表示しています。

# ☑ 米国には、市場環境の変化によって、異なる特徴を持つ複数の種類の債券 があります。

# 米国の主な債券の値動き(2000年12月末~2021年3月末)



2000年12月末を100として指数化

出所:米国国債:ブルームバーグ・バークレイズ米国国債インデックス

米国モーゲージ債:ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス

米国投資適格社債:ブルームバーグ・バークレイズ米国投資適格社債インデックス

米国ハイイールド債:ブルームバーグ・バークレイズ米国コーポレート・ハイイールド・インデックス

すべてトータル・リターン、米ドルベース

☑ 市場環境に応じて、債券はそれぞれ異なる値動きをする傾向にあります。 これら債券を組み合わせることで、分散投資の効果が期待できると考えます。

# ジャナス・マルチセクター・インカム・ファンド

愛称:剣と盾型

# 証券に投資することのリスク

為替リスク

金利リスクおよび信用リスク

【リスクは上記に限定されるものではありません。詳しくは】 投資信託説明書(交付日論見書)を必ずお読みください。

# ファンドの主な特徴

# 当ファンドは、アンダーライイング・ファンド\*への投資を通して、米国債券を実質的な主要投資対象とします。

- 主として米国の債券に投資し、高格付けで安定的な資産を組入れる「コア・セクター」と、高利回りで高い リターンの獲得を目指す「プラス・セクター」に配分することで、高い金利収入と資産価格の上昇による収益 獲得を目指します。
- 市場環境に合わせてコア・セクターとプラス・セクターの資産配分を機動的に変更することで、金利リスク (金利上昇時の債券価格の下落)や信用リスクを抑制することを目指します。
- 適切なバランスの資産配分を通じて、ハイイールド債よりもリスク(ボラティリティ)を抑えつつ、国債や投資 適格社債よりも高いリターンの獲得を目指します。

\* 当ファンドのアンダーライイング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・マルチセクター・インカム・ファンドです。



# コア・セクター/プラス・セクターへの機動的な資産配分

コア・セクター

景気後退期

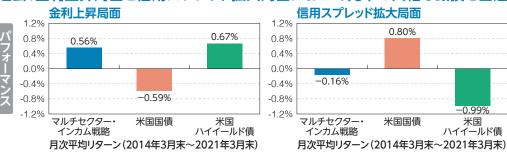
### コア・ヤクター プラス・セクター 相対的に信用力が高い債券等から構成されます。 相対的に信用力が低い一方、利回りの高い債券 プラス・セクターよりも利回りが低い一方、値動き 等から構成されます。 コア・セクターよりも値動きが大きく、特に景気 が安定的で、特に景気後退期のパフォーマンスを 下支えする効果が期待できます。 拡張期に高い収益性が期待できます。 主な投資対象 主な投資対象 投資適格社債 ハイイールド債 バンクローン モーゲージ債 資産担保証券 商業不動産担保証券 (通常の配分比率 35%~65%) (通常の配分比率 35%~65%) 機動的な 資産配分 資産配分のイメージ

コア・ セクタ-

プラス・ セクタ-

景気拡張期

# マルチセクター・インカム戦略のリスク局面のパフォーマンス 過去、金利上昇局面と信用スプレッド拡大局面において元本の大幅な毀損を回避



### 信用スプレッドとは?

社債の利回りと国債の利回りの差を信用スプレッドといいます。格付けが低く信用リスクの高い債券ほど利回り が高く、国債との利回り格差(信用スプレッド)も大きくなる傾向があります。

出所:各種データよりジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ作成

金利上昇局面のパフォーマンスは米国10年国債の利回りが前月末比で上昇した月のリターンを平均したもので、信用スプレッド 拡大局面のパフォーマンスはブルームバーグ・バークレイズ米国コーポレート・ハイイールド・インデックスの信用スプレッドが 前月末比で拡大した月のリターンを平均したものです。

マルチセクター・インカム戦略のパフォーマンスは、ジャナス・マルチセクター・インカム・ファンドと類似の運用戦略で運用する複数の ポートフォリオのパフォーマンスの加重平均値(米ドルベース、報酬等控除前)で、ジャナス・マルチセクター・インカム・ファンドの

米国国債および米国ハイイールド債のパフォーマンスには、ブルームバーグ・バークレイズ米国国債インデックス、ブルームバーグ・ バークレイズ米国コーポレート・ハイイールド・インデックスのパフォーマンス(共にトータル・リターン、米ドルベース)を使用。過去の 運用実績は将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

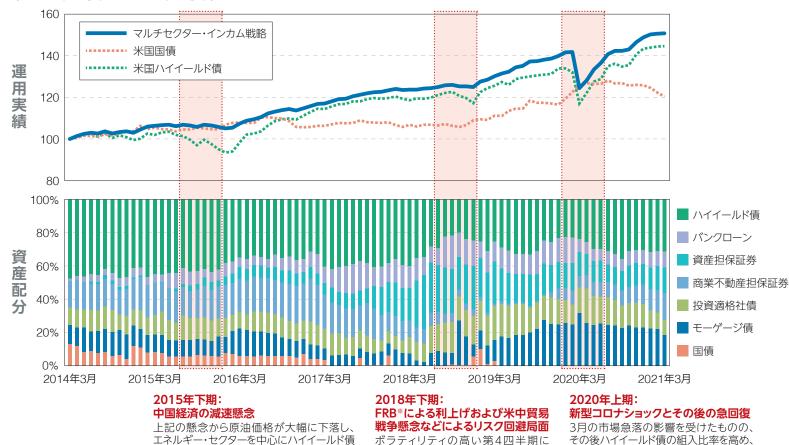
が下落する中、当戦略はハイイールド債への

高い配分にもかかわらず、銘柄選定が功を

奏しプラスのリターンを確保

# マルチセクター・インカム戦略の運用実績\*1と資産配分\*2

# (2014年3月末~2021年3月末)



# マルチセクター・インカム戦略の 期間別パフォーマンス\*1

(2014年3月末~2021年3月末)

	マルチセクター・ インカム戦略
2014年* <sup>3</sup>	3.01%
2015年	2.62%
2016年	8.49%
2017年	7.53%
2018年	1.35%
2019年	11.95%
2020年	6.35%
2021年* <sup>3</sup>	1.33%
運用開始来(年率)	6.04%
標準偏差(年率)	5.75%

### 出所:各種データよりジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ作成

\*1 マルチセクター・インカム戦略のパフォーマンスは、ジャナス・マルチセクター・インカム・ファンドと類似の運用戦略で運用する複数のポートフォリオのパフォーマンスの加重平均値(米ドルベース、報酬等控除前)で、ジャナス・マルチセクター・インカム・ファンドのものではありません。

おいてハイイールド債券インデックスと

比較して強い下落耐性

※米連邦準備制度理事会

パフォーマンスは急回復

- \*2 マルチセクター・インカム戦略の資産配分は、ジャナス・マルチセクター・インカム・ファンドと類似の運用戦略のもので、ジャナス・マルチセクター・インカム・ファンドのものではありません。また、資産配分は組入証券時価総額に対する比率で示されています。
- \*3 2014年は3月末からの、2021年は3月末までのパフォーマンスです。

運用実績は2014年3月末を100として指数化(マルチセクター・インカム戦略開始来)。米国国債および米国ハイイールド債のパフォーマンスには、ブルームバーグ・バークレイズ米国国債インデックス、ブルームバーグ・バークレイズ米国コーポレート・ハイイールド・インデックスのパフォーマンス(共にトータル・リターン、米ドルベース)を使用。過去の運用実績は将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

# ジャナス・セレクション ジャナス・ハイイールド・ファンド

証券に投資することのリスク

為替リスク

ハイイールド証券に関するリスク ■ 金利リスクおよび信用リスク

【リスクは上記に限定されるものではありません。詳しくは】 投資信託説明書(交付日論見書)を必ずお読みください。

# ファンドの主な特徴

愛称:収穫型

当ファンドは、アンダーライイング・ファンド\*への投資を诵して、米国ハイイールド債を実質的な主要投資対象とします。

- 主として米国の高利回り(ハイイールド)債に投資し、高水準の利子収入と値上がり益の獲得により、信託財産の 長期的な成長を目指します。
- 株式と債券のアナリストが協働で、多角的に企業の調査・分析を行い、社債銘柄を選別し投資します。
- 独白のポートフォリオ分析と徹底したリスク管理により、投資リスクの低減を重視した運用を行います。

ジャナス・ハイイールド・ファンド クラスA受益証券(毎月分配型)は、原則として毎月分配を行います。ただし、将来の分配金の支払いおよびその金額を保証するものではありません。 \* 当ファンドのアンダーライイング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・ハイイールド・ファンドです。



# パフォーマンス

\* 運用開始日は2001年11月27日

# ジャナス・ハイイールド・ファンド クラスA(米ドル)受益証券 1口当たり純資産価格の推移\*1



- 2001年11月 2004年11月 2007年11月 2010年11月 2013年11月 2016年11月 2019年11月 2021年3月
  - \*1 1□当たり純資産価格は管理報酬およびその他の費用控除後の値であり、購入手数料は含まれていません。
- 標準偏差とは、ある測定期間内のファンドの平均収益率から各収益率(例えば、年間収益率等)がどの程度 離れているか(すなわち偏差)を求めることによって得られる統計学上の数値です。この数値が高い程、ファンドの 収益率の変動幅(リスク)が大きくなります。
  - \*2 1年未満の期間の標準偏差は算出していません。

年間収益率は税引き前です。

- \*3 2001年11月26日(運用開始日前日)~2021年3月末
- ■過去の運用実績は将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。 出所: J.P.モルガン・アドミニストレーション・サービシズ (アイルランド) リミテッド

# ジャナス・ハイイールド・ファンド クラスA(米ドル)受益証券 年間収益率(費用控除後)

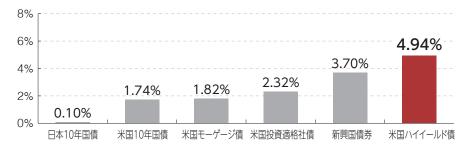
	1	
	年間収益率	年間標準偏差
2002年	1.49%	4.17%
2003年	14.83%	3.37%
2004年	7.83%	3.19%
2005年	1.63%	4.76%
2006年	10.25%	2.13%
2007年	0.31%	6.34%
2008年	-21.65%	16.83%
2009年	40.59%	10.13%
2010年	14.51%	7.54%
2011年	2.04%	9.29%
2012年	13.05%	3.93%

	年間収益率	年間標準偏差
2013年	6.32%	4.87%
2014年	-0.51%	4.77%
2015年	-2.71%	5.15%
2016年	11.69%	4.14%
2017年	4.90%	2.32%
2018年	-3.99%	3.29%
2019年	13.57%	4.56%
2020年	5.33%	16.05%
2021年3月末*2	1.03%	-
運用開始来 (年率)* <sup>3</sup>	5.61%	7.66%

## 社債の格付け(一般的なイメージ図)



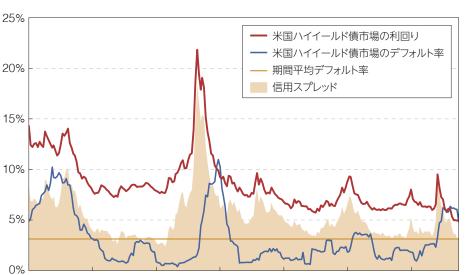
# 各種債券の利回り比較(2021年3月末現在)



出所:日本10年国債:ブルームバーグ・ジェネリック日本国債10年複利インデックス 米国10年国債:ブルームバーグ・ジェネリック米国債利回り10年インデックス 米国モーゲージ債:ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス 米国投資適格社債:ブルームバーグ・バークレイズ米国投資適格社債インデックス 新興国債券:ブルームバーグ・バークレイズEMハード・カレンシー総合インデックス 米国ハイイールド債:ブルームバーグ・バークレイズ米国コーポレート・ハイイールド・インデックス 各インデックスの最終利回りを使用

# ✓ 一般的に、ハイイールド債は国債や投資適格社債と比較して 信用リスクが高い反面、高い利回りが期待できます。

# **米国ハイイールド債市場の利回り・デフォルト率・信用スプレッド推移** (2000年12月末~2021年3月末)



2000年12月 2003年12月 2006年12月 2009年12月 2012年12月 2015年12月 2018年12月 2021年3月 出所:利回りと信用スプレッド:ブルームバーグ・バークレイズ米国コーポレート・ハイイールド・インデックス デフォルト率: JPモルガン

ハイイールド債の利回り = 国債の利回り + 信用スプレッド(上乗せ金利)

### 信用スプレッドとは?

社債の利回りと国債の利回りの差を信用スプレッドといいます。格付けが低く信用リスクの高い債券ほど利回りが高く、国債との利回り格差(信用スプレッド)も大きくなる傾向があります。

### デフォルトとは?

デフォルト(債務不履行)とは、債券の元本や利息の支払いが定められたとおりに行われないことです。

# ✓ 過去の金利上昇局面\*では、信用スプレッドが縮小し、ハイイールド債の利回りは低下(債券価格は上昇)する傾向がみられました。

\*2000年以降、米国10年国債の利回りが1%以上上昇した期間

# ジャナス・バランス・ファンド

愛称:全天候型

# 証券に投資することのリスク

為替リスク

**|金利リスクおよび信用リスク** 

「リスクは上記に限定されるものではありません。詳しくは 投資信託説明書(交付日論見書)を必ずお読みください。

# ファンドの主な特徴

当ファンドは、アンダーライイング・ファンド\*への投資を通して、**米国株式と米国債券を実質的な主要投資対象**とします。

- 主として米国の株式と債券に分散投資し、長期的に安定した信託財産の成長を目指します。
- 市場環境の変化をとらえ、株式と債券の投資比率を機動的に変更します。
- は大と債券のアナリストのリサーチ力を融合し、個別企業の調査・分析に基づき、魅力的な投資機会を追求します。
  - \* 当ファンドのアンダーライイング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンドです。



# パフォーマンス

# ジャナス・バランス・ファンド クラスA(米ドル)受益証券 1口当たり純資産価格の推移\*1



- \* 運用開始日は2001年11月27日
- \*1 1口当たり純資産価格は管理報酬およびその他の費用控除後の値であり、購入手数料は含まれていません。

# ジャナス・バランス・ファンド クラスA(米ドル)受益証券 年間収益率(費用控除後)

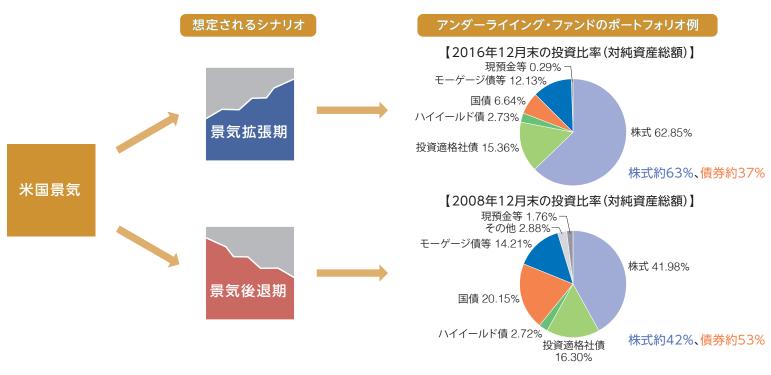
	年間収益率	年間標準偏差
2002年	-8.13%	6.77%
2003年	12.58%	6.07%
2004年	6.35%	5.09%
2005年	6.39%	5.99%
2006年	8.89%	5.11%
2007年	8.43%	6.14%
2008年	-18.42%	14.57%
2009年	23.50%	11.16%
2010年	6.35%	11.28%
2011年	-0.56%	12.64%
2012年	11.27%	7.84%

	年間収益率	年間標準偏差
2013年	16.15%	5.08%
2014年	4.13%	5.05%
2015年	-0.86%	7.00%
2016年	2.72%	7.08%
2017年	16.15%	3.37%
2018年	-1.20%	9.09%
2019年	19.81%	6.83%
2020年	12.18%	16.21%
2021年3月末*2	1.26%	-
運用開始来 (年率)* <sup>3</sup>	6.13%	8.73%

年間収益率は税引き前です。

標準偏差とは、ある測定期間内のファンドの平均収益率から各収益率 (例えば、年間収益率等) がどの程度離れているか (すなわち偏差) を求めることによって得られる統計学上の数値です。この数値が高い程、ファンドの収益率の変動幅 (リスク) が大きくなります。

- \*2 1年未満の期間の標準偏差は算出していません。
- \*3 2001年11月26日(運用開始日前日)~2021年3月末
- ■過去の運用実績は将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。 出所: J.P.モルガン・アドミニストレーション・サービシズ (アイルランド) リミテッド



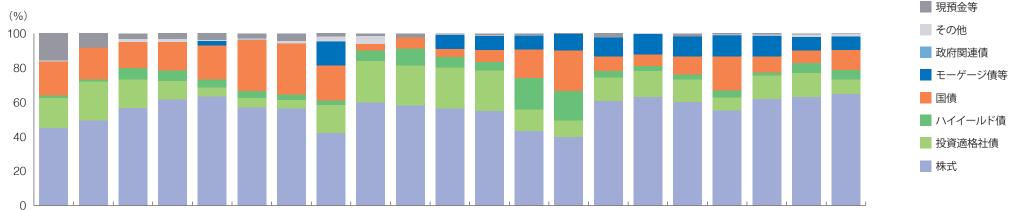
景気拡張期には株式の投資比率を 引上げ、景気後退期には国債や モーゲージ債等を中心に債券の比 率を引上げることにより、機動的に 資産配分を変更します。

### 各見通しにおける株式・債券の投資比率の目安

見通し	投資比率の目安
強気	株式 65% 債券 35%
中立	株式 60% 債券 40%
弱含み	株式 50% 債券 50%
弱気	株式 45% 債券 55%

左ポートフォリオ例は、情報提供を目的としており、 今後の景気や市場の展望を示唆または保証する ものではありません。

# アンダーライイング・ファンド投資比率の推移(対純資産総額、2001年12月末~2021年3月末)



2001年12月 2002年12月 2003年12月 2003年12月 2006年12月 2006年12月 2007年12月 2008年12月 2008年12月 2009年12月 2009年12月 2019年12月 2011年12月 2011年12月 2012年12月 2013年12月 2014年12月 2015年12月 2016年12月 2016年12月 2017年12月 2018年12月 2019年12月 2020年12月 202

バンクローンは2013年11月以前は「その他」に区分していますが、2013年12月以降は「投資適格社債」および「ハイイールド債」の区分に組み入れて計算しています。

■過去のデータは将来の投資成果、傾向、数値などを示唆・保証するものではありません。 出所:ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ

# ジャナス・ストラテジック・バリュー・ファンド

愛称: みにくいアヒルの子型

# 証券に投資することのリスク

**詩替リスク** 

| 小型証券に関連するリスク

「リスクは上記に限定されるものではありません。詳しくは 投資信託説明書(交付日論見書)を必ずお読みください。

# ファンドの主な特徴

当ファンドは、アンダーライイング・ファンド\*への投資を通して、米国株式を実質的な主要投資対象とします。

- 主として米国企業の株式に幅広く分散投資を行い、信託財産の長期的な成長を目指します。
- **②** 企業の本源的価値に対して、割安な価格で取り引きされていると判断する株式を選定します。
- 段子を表示している。

  はいる。

  はいる。<
  - \* 当ファンドのアンダーライイング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・USストラテジック・バリュー・ファンドです。 なお、当該アンダーライイング・ファンドの副投資顧問会社であるパーキンス・インベストメント・マネジメント・エルエルシーは、2021年9月末に組織改編でジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに統合される予定であり、あわせて当該アンダーライイング・ファンドの受益者の同意及び規制当局の承認を条件として、 同ファンドの名称がジャナス・ヘンダーソン・US・スモールーミッドキャップ・バリュー・ファンドに変更される予定です。



# パフォーマンス

# ジャナス・ストラテジック・バリュー・ファンド クラスA(米ドル)受益証券 1口当たり純資産価格の推移\*1



- \* 運用開始日は2001年11月27日
- \*1 1□当たり純資産価格は管理報酬およびその他の費用控除後の値であり、購入手数料は含まれていません。

# ジャナス・ストラテジック・バリュー・ファンド クラスA(米ドル)受益証券年間収益率(費用控除後)

	年間収益率	年間標準偏差
2002年	-23.10%	20.18%
2003年	40.69%	12.55%
2004年	16.20%	8.32%
2005年	8.55%	9.93%
2006年	13.72%	7.03%
2007年	4.85%	8.76%
2008年	-28.80%	22.09%
2009年	29.54%	21.08%
2010年	11.16%	15.99%
2011年	-4.88%	16.56%
2012年	7.84%	10.57%

	年間収益率	年間標準偏差
2013年	24.53%	8.53%
2014年	7.58%	8.12%
2015年	-4.60%	12.51%
2016年	14.40%	10.25%
2017年	12.06%	4.49%
2018年	-9.49%	14.54%
2019年	25.87%	11.71%
2020年	2.67%	24.88%
2021年3月末*2	9.96%	-
運用開始来 (年率)* <sup>3</sup>	6.96%	14.30%

年間収益率は税引き前です。

標準偏差とは、ある測定期間内のファンドの平均収益率から各収益率 (例えば、年間収益率等) がどの程度離れているか (すなわち偏差) を求めることによって得られる統計学上の数値です。この数値が高い程、ファンドの収益率の変動幅 (リスク) が大きくなります。

- \*2 1年未満の期間の標準偏差は算出していません。
- \*3 2001年11月26日(運用開始日前日)~2021年3月末
- ■過去の運用実績は将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。 出所: J.P.モルガン・アドミニストレーション・サービシズ (アイルランド) リミテッド

# ファンドのコンセプト

財務・経営体質が健全でありながら、 市場で過小評価されていると考える 企業の株式を選定 割安株式 (バリュー) 割安と判断する 米国企業の株式に 分散投資 分散投資 米国株式 企業の規模や業種にとらわれず、 主に米国企業の投資機会を追求 幅広く投資を行うことにより、リスク を低減しつつ、安定的な収益獲得 を日指す

# 運用プロセス



# STEP3

ポートフォリオの構築

投資意思決定と分散型 ポートフォリオの構築 ポートフォリオ・マネージャーが、投資の最終的な意思決定を行い、 分散型ポートフォリオを構築します。

(2021年3月末現在)

▼ 様々な環境変化に勝ち残れる力を備え、かつ割安と判断する米国企業への投資機会を幅広く追求。その中でもリワード/リスク比率が魅力的な水準にある銘柄を 選別し、株価の上昇局面のみならず、下落局面においても安定した収益の獲得を目指します。

# ジャナス・フォーティ・ファンド

愛称: ノアの箱舟 厳選型

証券に投資することのリスク

為替リスク

投資の集中に関するリスク

リスクは上記に限定されるものではありません。詳しくは 投資信託説明書(交付日論見書)を必ずお読みください。

# ファンドの主な特徴

当ファンドは、アンダーライイング・ファンド\*への投資を通して、米国株式を実質的な主要投資対象とします。

- 1 主として米国の大型成長株式に投資し、信託財産の長期的な成長を目指します。
- 個別企業の調査・分析に基づき厳選した、20から40銘柄程度をポートフォリオの中核として集中投資します。
- 3 高い潜在成長性を備え、変革を遂げている企業への投資機会を追求します。
  - \* 当ファンドのアンダーライイング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・USフォーティ・ファンドです。



# パフォーマンス

# ジャナス・フォーティ・ファンド クラスA (米ドル) 受益証券 1口当たり純資産価格の推移\*1



- \* 運用開始日は2001年11月27日
- \*1 1□当たり純資産価格は管理報酬およびその他の費用控除後の値であり、購入手数料は含まれていません。

# ジャナス・フォーティ・ファンド クラスA(米ドル)受益証券 年間収益率(費用控除後)

		:
	年間収益率	年間標準偏差
2002年	-24.53%	17.10%
2003年	22.19%	9.11%
2004年	14.25%	10.99%
2005年	10.71%	10.27%
2006年	9.18%	9.75%
2007年	29.71%	12.19%
2008年	-45.28%	29.51%
2009年	43.17%	17.11%
2010年	6.25%	23.72%
2011年	-9.02%	19.39%
2012年	21.18%	14.17%

	年間収益率	年間標準偏差
2013年	36.00%	8.59%
2014年	9.29%	11.93%
2015年	5.28%	15.21%
2016年	-2.76%	13.84%
2017年	27.82%	6.53%
2018年	-0.46%	16.38%
2019年	34.38%	12.74%
2020年	37.73%	24.33%
2021年3月末*2	1.87%	-
運用開始来 (年率)* <sup>3</sup>	9.23%	16.43%

年間収益率は税引き前です。

標準偏差とは、ある測定期間内のファンドの平均収益率から各収益率 (例えば、年間収益率等) がどの程度離れているか (すなわち偏差) を求めることによって得られる統計学上の数値です。この数値が高い程、ファンドの収益率の変動幅 (リスク) が大きくなります。

- \*2 1年未満の期間の標準偏差は算出していません。
- \*3 2001年11月26日(運用開始日前日)~2021年3月末
- ■過去の運用実績は将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。 出所: J.P.モルガン・アドミニストレーション・サービシズ (アイルランド) リミテッド

# ファンドのコンセプト 未開拓市場を切り開く革新的な商品やサービスを持ち、長期的に競争優位性が高いとみられる企業を選定 成長株式 (グロース)

長期的な 成長力を備えた

米国企業の株式に

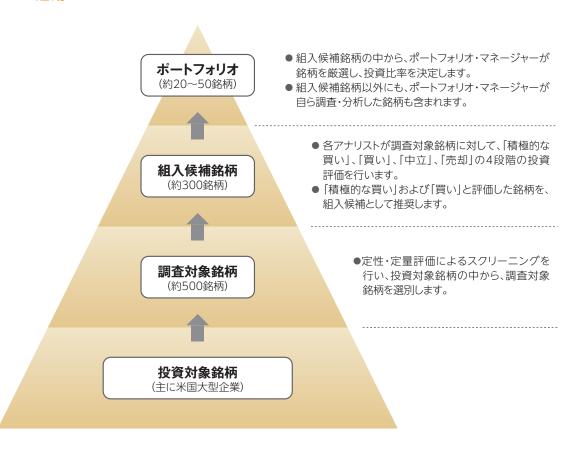
集中投資

主に米国の中でも、大型成長企業 の投資機会を追求

米国を中心とする成長企業の中でも、優れた経営戦略の下、高い資本利益率と、力強いフリーキャッシュフローを生み出している企業を厳選

集中投資

# 運用プロセス



(2021年3月末現在)

✓ 徹底した個別企業調査・分析に基づき、米国を中心とする大型株式の中から、高い資本利益率と潜在成長性を備え、業界をリードし変化を遂げている企業を 厳選。こうした有望企業に集中投資することで収益の獲得を目指します。

# ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンド

愛称:大地の実り型

# 証券に投資することのリスク

為替リスク

REITおよび不動産関連企業に関するリスク

【リスクは上記に限定されるものではありません。詳しくは】 投資信託説明書(交付日論見書)を必ずお読みください。

# ファンドの主な特徴

当ファンドは、アンダーライイング・ファンド\*への投資を通して、世界の不動産関連証券を実質的な主要投資対象とします。

- 主として世界の不動産投資信託(REIT)および不動産関連株式に投資し、長期的に安定した信託財産の成長
- 安定した配当収益の獲得と、長期(5年以上)にわたる証券価格の上昇を目指します。
- 良好な立地条件、優れた経営体制、強固な財務基盤を備えた不動産関連企業を選定し投資します。

原則として四半期に一度分配を行います。ただし、将来の分配金の支払いおよびその金額を保証するものではありません。 \* 当ファンドのアンダーライイング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・ブローバル・リアルエステート・エクイティ・ インカム・ファンドです。



# パフォーマンス

# ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンド クラスA(米ドル)受益証券 1口当たり純資産価格の推移\*1



- \*1 運用開始日は2003年9月30日
- \*2 1口当たり純資産価格は管理報酬およびその他の費用控除後の値であり、購入手数料は含まれていません。
- \*3 1口当たり純資産価格(課税前分配金再投資)は、管理報酬およびその他の費用控除後の1口当たり純資産 価格に課税前分配金を再投資したものとして算出しており、購入手数料は含まれていません。

# ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンド クラスA(米ドル)受益証券 年間収益率(費用控除後)

年間収益率	年間標準偏差
17.56%	13.85%
5.16%	10.41%
21.71%	8.32%
-13.11%	16.59%
-50.13%	38.71%
53.19%	38.77%
18.06%	18.54%
-15.99%	21.23%
33.53%	14.42%
6.05%	11.82%
	17.56% 5.16% 21.71% -13.11% -50.13% 53.19% 18.06% -15.99% 33.53%

	年間収益率	年間標準偏差
2014年	12.09%	10.06%
2015年	-4.88%	10.14%
2016年	3.07%	15.28%
2017年	15.58%	3.94%
2018年	-4.89%	11.27%
2019年	29.10%	9.99%
2020年	0.55%	24.13%
2021年3月末*4	3.65%	-
運用開始来 (年率)*5	5.13%	18.95%

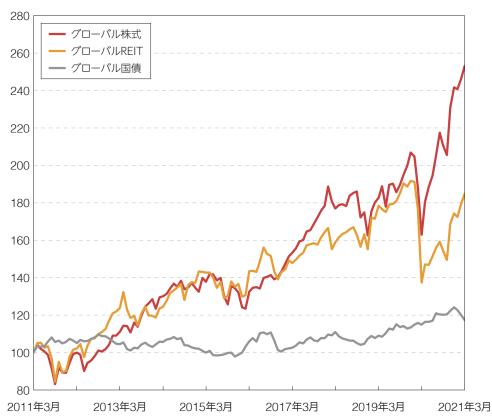
年間収益率は税引き前です。

標準偏差とは、ある測定期間内のファンドの平均収益率から各収益率(例えば、年間収益率等)がどの程度 離れているか(すなわち偏差)を求めることによって得られる統計学上の数値です。この数値が高い程、ファンドの 収益率の変動幅(リスク)が大きくなります。

- \*4 1年未満の期間の標準偏差は算出していません。
- \*5 2003年9月29日(運用開始日前日)~2021年3月末
- ■過去の運用実績は将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。 出所: J.P.モルガン・アドミニストレーション・サービシズ (アイルランド) リミテッド

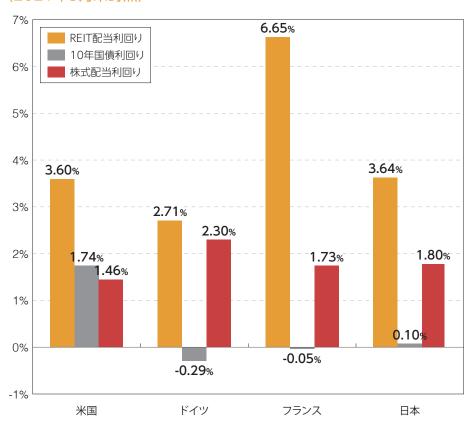
# REITおよび株式、国債のパフォーマンス推移

(期間:2011年3月末~2021年3月末)



すべてトータル・リターン、米ドル・月次ベース、2011年3月末を100として指数化 出所:グローバル株式:MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス グローバルREIT:FTSE EPRA NAREITグローバル指数 グローバル国債:ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債インデックス

# 各国の配当利回り比較 (2021年3月末時点)



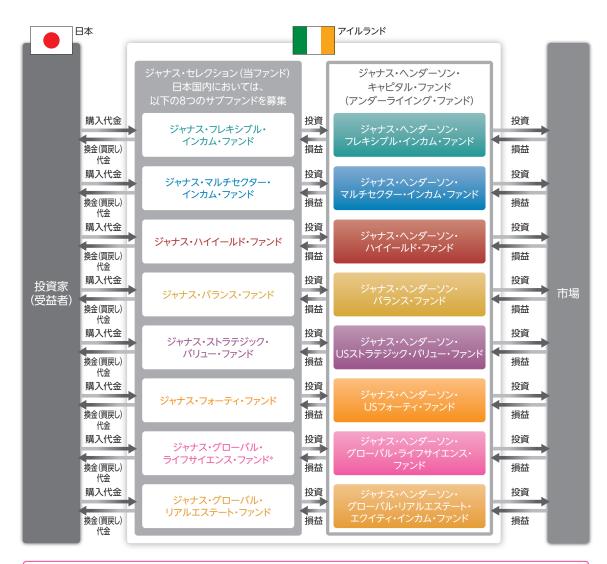
出所:REIT配当利回り:FTSE EPRA NAREITの各国指数、日本は東証REIT指数 10年国債利回り:ブルームバーグ・ジェネリック各国国債利回り 株式配当利回り:米国/S&P500株価指数、ドイツ/DAX指数、フランス/CAC40指数、日本/東証株価指数

グローバルREITは、グローバル株式に遅れながらも、パフォーマンスが回復に向かっています。

√ REITや不動産株式の配当利回りは相対的に魅力的な水準にあるため、インカム・ゲインを狙った資金の流入が期待されます。

# ファンドの仕組みおよびジャナス・ヘンダーソン・グループについて

## ジャナス・セレクション各サブファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンドの各アンダーライイング・ファンドに投資します。



\*ジャナス・セレクションにジャナス・グローバル・ライフサイエンス・ファンドが加わりました。 詳しくは投資信託説明書(交付日論見書)および別冊の販売用資料をご覧ください。

# ジャナス・ヘンダーソン・グループについて

ジャナス・ヘンダーソン・グループは2017年5月にジャナス・ キャピタル・グループとヘンダーソン・グループの合併により誕生 した、ニューヨーク証券取引所およびオーストラリア証券取引所 に上場している世界有数のアクティブ運用会社です。

同グループは世界25都市のオフィスに2000名超の従業員が 在籍しています。

創設以来、一貫して資産運用に専念。揺るぎない投資哲学と豊富な専門知識、グローバルに広がるネットワークを基盤に、年金基金、機関投資家から個人投資家に至るまで、世界中のお客様を対象とする様々な運用戦略の提供に取り組み、確かな実績を築いています。



2021年3月末現在

投資信託で分配金が 支払われるイメージ



投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託 の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、 その金額相当分、受益証券1口当たり純資産価格は下がり ます。

### 期中収益を超えて支払われる場合(米ドル建てのクラスの場合) 前分配日から受益証券1口当たり純資産価格が下落した場合 前分配日から受益証券1口当たり純資産価格が上昇した場合 105.5米ドル 期中収益 0.5米ドル 105米ドル 分配金 105米ドル 1米ドル 0.5米ドル 104.5米ドル 104米ドル 配当等収益 0.2米ドル 1米ドル 0.8米ドル 103米ドル 前分配日 当分配日 当分配日 前分配日 当分配日 当分配日 分配後 分配前 分配後 分配前

一般的に、分配金が分配期間中に発生した収益(配当等収益、評価益および実現した純譲渡益の合計をいい、以下「期中収益」といいます。)を超えて支払われる場合、当分配日の受益証券1口当たり純資産価格は前分配日と比べて下落することになります。ただし、分配を行う当ファンドの各サブファンドについては、分配可能な金額は期中収益のうち、配当等収益、場合によっては実現した純譲渡益であり、かかる収益を超えて分配金が支払われることはありません。

また、分配金の水準は、必ずしも分配期間におけるファンドの 収益率を示すものではありません。

※左記は期中収益を超えて分配金が支払われた場合のイメージであり (ただし、当ファンドの各サブファンドの分配金が配当等収益や実現し た純譲渡益を超えて支払われることはありません。)、実際の分配金 額、受益証券1口当たり純資産価格や当ファンドの各サブファンドの 分配方針を示唆するものではありませんのでご留意ください。分配金 は、当ファンドの各サブファンドの分配方針に基づき、分配可能な金額 から支払われます。当ファンドの各サブファンドの分配方針について は、投資信託説明書(交付目論見書)の「分配方針」をご参照ください。

投資家のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的に購入価額を下回って支払われる場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より受益証券1口当たりの純資産価格の値上がりが小さかった場合も同様です。国内投資信託においては、分配金支払い後、受益証券1口当たり純資産価格が購入価額を下回る部分(実質的な個別元本の払戻し部分)は、非課税扱いとなります。これに対し、当ファンドの各サブファンドのような外国投資信託においては、分配金支払い後、受益証券1口当たり純資産価格が購入価額を下回る部分についても、購入価額を下回る部分と同様、課税対象となります。

(注)分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「課税上の取扱い」をご参照ください。

※上記は分配金支払い後、受益証券1口当たり純資産価格が投資家の購入価額を下回る場合のイメージであり、実際の分配金額、受益証券1口当たり純資産価格や当ファンドの各サブファンドの 分配方針を示唆するものではありませんのでご留意ください。当ファンドの各サブファンドの分配方針については、投資信託説明書(交付目論見書)の「分配方針」をご参照ください。

# リスクについて①

投資信託のお申込みに際しては、<u>投資信託説明書(交付目論見書)等をよくお読みになり、契約内容およびリスク・手数料等をご理解いただいたうえで、お客様ご自身の判断と</u> 責任においてお取引ください。

ジャナス・セレクション各サブファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンドの各サブファンド(以下、「アンダーライイング・ファンド」)への投資を通して様々な証券に投資するため、1口当たりの純資産価格が変動し、取得時の価格を下回る場合もあります。従って、ジャナス・セレクション各サブファンドへの投資は、下記のようなリスクが伴います。なお、ジャナス・セレクションのリスクは下記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)に記載する「投資リスク」を十分お読みください。

# 当ファンド(ジャナス・セレクション)の主なリスク

# 証券に投資することのリスク

当ファンド各サブファンドまたは各アンダーライイング・ファンドが、その投資目的を達成するという保証はありません。異なる国の企業および政府により発行された異なる通貨建ての証券への投資には一定のリスクがあり、受益証券の価格の下落という結果につながる場合があります。当ファンドの投資元本は保証されているものではなく、受益証券1口当たり純資産価格の下落により、投資元本を割り込む可能性があります。これらの運用または為替相場の変動による損益は、すべて投資家に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

# 為替リスク

# ● 米ドル建てクラス受益証券

各サブファンドの米ドル建てクラス受益証券の価格は、アンダーライイング・ファンドが 米ドル以外の通貨建ての証券または通貨を保有する場合、米ドル以外の通貨価値の 変動による影響を受ける可能性があります。

# ● 円建てクラス受益証券

アンダーライイング・ファンドへの投資は米ドルで行われるため、各サブファンドの円建てクラス受益証券の価格は、米ドルの通貨価値の変動による影響を受ける可能性があります。また、各サブファンドの円建てクラス受益証券の価格は、アンダーライイング・ファンドが円以外の通貨建ての証券または通貨を保有する場合、円以外の通貨価値の変動による影響を受ける可能性があります。

ジャナス・ハイイールド・ファンド クラスA(円)受益証券(毎月分配型)を除き、各サブファンドの円建てクラス受益証券は、米ドルの円に対する通貨変動に対し為替ヘッジ(円ヘッジといいます。)を行うことを基本としますが、これは為替リスクがなくなることを保証するものではありません。なお、各サブファンドの円建てクラスはかかるヘッジ手法に関連した費用を負担します。

# ●豪ドル建てクラス受益証券

ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド、ジャナス・マルチセクター・インカム・ファンド及びジャナス・フォーティ・ファンドにおいては、豪ドル建てクラス受益証券の取扱いがありますが、アンダーライイング・ファンドへの投資は米ドルで行われるため、各サブファンドの豪ドル建てクラス受益証券の価格は、米ドルの通貨価値の変動による影響を受ける可能性があります。また、各サブファンドの豪ドル建てクラス受益証券の価格は、

当該サブファンドのアンダーライイング・ファンドが豪ドル以外の通貨建ての証券または 通貨を保有する場合、豪ドル以外の通貨価値の変動による影響を受ける可能性が あります。

各サブファンドの豪ドル建てクラス受益証券は、米ドルの豪ドルに対する通貨変動に対し為替ヘッジ(豪ドルヘッジといいます。)を行うことを基本としますが、これは為替リスクがなくなることを保証するものではありません。なお、各サブファンドの豪ドル建てクラスはかかるヘッジ手法に関連した費用を負担します。

### ●NZドル建てクラス受益証券

ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド、ジャナス・マルチセクター・インカム・ファンド及びジャナス・フォーティ・ファンドにおいては、NZドル建てクラス受益証券の取扱いがありますが、アンダーライイング・ファンドへの投資は米ドルで行われるため、各サブファンドのNZドル建てクラス受益証券の価格は、米ドルの通貨価値の変動による影響を受ける可能性があります。また、各サブファンドのNZドル建てクラス受益証券の価格は、当該サブファンドのアンダーライイング・ファンドがNZドル以外の通貨建ての証券または通貨を保有する場合、NZドル以外の通貨価値の変動による影響を受ける可能性があります。

各サブファンドのNZドル建てクラス受益証券は、米ドルのNZドルに対する通貨変動に対し為替ヘッジ (NZドルヘッジといいます。)を行うことを基本としますが、これは為替リスクがなくなることを保証するものではありません。なお、各サブファンドのNZドル建てクラスはかかるヘッジ手法に関連した費用を負担します。

# 過度または短期の取引

**当ファンド各サブファンドへの投資は長期的な投資を目的としています**。投資家による過度または短期の取引は、ポートフォリオ投資戦略を混乱させ、費用を増加させ、また他のすべての投資家の投資収益に悪影響を与える可能性があります。

管理会社は、事前の通知なく、またいかなる理由であっても、そのようなおそれのある 購入申込み(スイッチングを含む)を拒否することができます。

# その他の留意点

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆる クーリング・オフ)の適用はありません。

# アンダーライイング・ファンドの主なリスク

# A. 一般的な投資リスク

# ハイイールド証券に関するリスク

アンダーライイング・ファンドには、投資対象の最低格付基準が定められていないため、主要な格付機関により投資適格未満とされた証券に投資する場合があります。この場合の投資は、高い格付を有する証券に対する投資と比べ、一般的に発行体の金利および元本の支払能力(すなわち信用リスク)に左右され、より高い信用リスクを有するため、高い格付の証券への投資よりも投機的な投資であり、債務不履行の可能性が高いと考えられます。発行体が債務不履行となった場合、投資家は大きな損失を被る可能性があります。

# 流動性リスク

アンダーライイング・ファンドが投資する市場の中には、世界の主要な株式市場に 比べ、流動性が低く変動性が高い市場があるため、受益証券の価格が大きく変動 することがあります。一定の証券は、売り手が売却したいと考える時点の時価で売 却することが困難または不可能な場合があります。

# 小型証券に関連するリスク

小規模または新しい企業の証券は、大規模または歴史の古い企業の証券よりも、大きな損失を被る可能性があります。

# 投資の集中に関するリスク

アンダーライイング・ファンドの中には、他のファンドと比べて分散性に欠けるものがあります。アンダーライイング・ファンドの投資が集中することにより、ある特定の投資の価値が下落した場合、またはその他の悪影響を受けた場合に、相対的に大きな損害を被る可能性が高まります。

# B. 特定のアンダーライイング・ファンドに関するリスク

# REITおよび不動産関連企業に関するリスク

該当ファンド ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンド

エクイティREITおよびその他の不動産関連企業の株価は、REITまたは不動産関連企業が資産として保有する不動産評価額の変動ならびに資本市場および金利の変化による影響を受けます。モーゲージREITおよびその他の不動産関連企業の株価は、その供与する貸付の質、保有するモーゲージの信用価値およびモーゲージの担保となる不動産評価額による影響を受けます。

ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンドのアンダーライイング・ファンドは不動産に直接投資しませんが、主に不動産関連の企業に投資する方針のため、証券市場関連リスクに加えて、不動産を直接所有する場合と同様のリスクがあります。ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンドのアンダーライイング・ファンドが投資することがある特化型のREITまたは不動産関連企業は、ホテル、療養施設、倉庫等の特定の不動産分野の成長性悪化に関連するリスクがある場合があります。

# 金利リスクおよび信用リスク

**該当ファンド** ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド

ジャナス・マルチセクター・インカム・ファンド

ジャナス・ハイイールド・ファンド

ジャナス・バランス・ファンド

ジャナス・ストラテジック・バリュー・ファンド

ジャナス・フォーティ・ファンド

ジャナス・グローバル・ライフサイエンス・ファンド\*

ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンド

\*ジャナス・セレクションにジャナス・グローバル・ライフサイエンス・ファンドが加わりました(2021年8月17日運用開始)。 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)および別冊の販売用資料をご覧ください。

上掲ファンドのアンダーライイング・ファンドの投資先に債券が含まれている場合、そのパフォーマンスは主に金利リスク(金利の変動に対応してポートフォリオの価値が変動するリスク)および信用リスク(発行体が期日までに元本および利子を支払えないリスク)に左右されます。

# お申込みメモ

運用開始日	2001年11月27日 (ただし、ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンドの運用開始日は2003年9月30日、ジャナス・ハイイールド・ファンドクラスA受益証券(毎月分配型)の運用開始日は2004年11月30日、ジャナス・マルチセクター・インカム・ファンドの運用開始日は2020年10月1日、ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド、ジャナス・フルチセクター・インカム・ファンド、ジャナス・フォーティ・ファンドのクラスA(豪ドル)受益証券の運用開始日は2021年7月20日、ジャナス・グローバル・ライフサイエンス・ファンドの運用開始日は2021年8月17日)		
信託期間	原則として無期限(2001年7月31日 当ファンド設定)		
決算日	原則として毎年12月31日		
収益分配	ジャナス・ハイイールド・ファンド クラスA(米ドル/円)受益証券(毎月分配型)は、原則として毎月分配を行います。ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンドクラスA(米ドル/円)受益証券(四半期分配型)は、原則として四半期に一度分配を行います。ただし、将来の分配金の支払いおよびその金額を保証するものではありません。その他のサブファンドにおいて、原則として分配は行いません。		
購入受付	原則として、取扱日 <sup>(注1)</sup> の午後3時(日本時間)までとなります。当該受付時間を 過ぎた場合は、翌取扱日の受付になります。ただし、販売会社または販売取扱 会社によっては、受付時間が異なる場合、または受付が行われない日がある場合 があります。		
購入価格	原則として、申込みを受領したファンド営業日(注2)に計算される受益証券1口当たりの純資産価格です。ただし、ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド(クラスA(豪ドル)受益証券及びクラスA(NZドル)受益証券)、ジャナス・マルチセクター・インカム・ファンド(クラスA(豪ドル)受益証券及びクラスA(NZドル)受益証券)及びジャナス・フォーティ・ファンド(クラスA(豪ドル)受益証券及びクラスA(NZドル)受益証券)は以下の通りです。 (1)当初申込期間(2021年7月1日(木)から2021年7月16日(金)まで) ○クラスA(豪ドル)受益証券:1口当たり100家ドル ○クラスA(NZドル)受益証券:1口当たり100NZドル (2)継続申込期間(2021年7月20日(火)から2022年6月30日(木)まで)原則として、申込みを受領したファンド営業日(注2)に計算される受益証券1口当たりの純資産価格です。		
当初購入単位	[クラスA(米ドル)受益証券] 3,000米ドル以上1米セント単位 [クラスA(円)受益証券] 50万円以上1円単位 [クラスA(豪ドル)受益証券] 3,000豪ドル以上1豪セント単位 [クラスA(NZドル)受益証券] 3,000NZドル以上1NZセント単位 ※クラスA(豪ドル)受益証券とクラスA(NZドル)受益証券についての当初申込期間中 (2021年7月1日~2021年7月16日)のお申込みについては、以下の通りです。 [クラスA(豪ドル)受益証券] 3,000家ドル以上100家ドル単位 [クラスA(NZドル)受益証券] 3,000NZドル以上100NZドル単位 (注)販売取扱会社において、別途、当初購入単位(金額)を定める場合があります。		

追加購入単位	[クラスA(米ドル)受益証券] 100米ドル以上1米セント単位 [クラスA(円)受益証券] 1万円以上1円単位 [クラスA(豪ドル)受益証券] 100豪ドル以上1豪セント単位 [クラスA(NZドル)受益証券] 100NZドル以上1NZセント単位 ※クラスA(豪ドル)受益証券とクラスA(NZドル)受益証券についての当初申込期間中(2021年7月1日~2021年7月16日)の追加購入単位については、以下の通りです。 [クラスA(豪ドル)受益証券] 100NZドル以上100NZドル単位 [クラスA(NZドル)受益証券] 100NZドル以上100NZドル単位		
換金(買戻U)受付	原則として、取扱日(注1)の午後3時(日本時間)までとなります。当該受付時間を 過ぎた場合は、翌取扱日の受付になります。ただし、販売会社または販売取扱 会社によっては、受付時間が異なる場合、または受付が行われない日がある場合 があります。		
換金(買戻し)価格	原則として、換金(買戻し)請求を受領したファンド営業日 <sup>(注2)</sup> に計算される受益 証券1口当たりの純資産価格です。		
換金(買戻し)単位	1□以上1/1000□単位 (全保有□数を売却する場合には、1/1000□以上1/1000□単位)		
換金(買戻し)代金	販売会社または販売取扱会社が換金(買戻し)請求を受け付けた日から起算して 10取扱日 <sup>健1)</sup> 以内に換金(買戻し)代金が支払われます。 ※原則として当ファンドの各サブファンドの各クラス受益証券の通貨で支払われます。		
課税関係	日本の課税上は、公募外国株式投資信託として取り扱われます。ただし、この 取扱いについては税務当局により判断が示されておらず、これと異なる取扱いと なる可能性もあります。また、将来における税制等の変更または税務当局の判断に より、この取扱いが変更されることがあります。		

上記の詳細については、SMBC信託銀行の国内各支店等にお問い合わせください。

(注1)取扱日とは、ファンド営業日で、かつ販売会社または販売取扱会社の営業日(取扱除外日を除きます。)をいいます。 (注2)ファンド営業日とは、ニューヨーク証券取引所の営業日をいいます。ただし、12月26日、27日、28日のいずれかのうちアイルランドの銀行が休業日とされる日を除きます。なお、投資顧問会社が管理事務代行会社・管理会社・保管受託会社の同意を得て決定した日を含みます。

# スイッチングに関する留意事項

# スイッチング手数料

スイッチング手数料はかかりません。

※スイッチングは、販売会社または販売取扱会社によって取扱いが異なりますので、詳細は 販売会社または販売取扱会社にお問い合わせください。

ジャナス・セレクションの他のサブファンドとの間でスイッチングができます。

スイッチングは、受益者が保有するクラス受益証券の換金(買戻し)と他のクラス受益証券の申込みを一括して 行う取引です。

ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド、ジャナス・マルチセクター・インカム・ファンド、ジャナス・フォーティ・ファンドのクラスA(豪ドル)受益証券及びクラスA(NZドル)受益証券へのスイッチングは2021年7月20日以降、ジャナス・グローバル・ライフサイエンス・ファンドへのスイッチングは、2021年8月17日以降可能となります。

# ジャナス・セレクション各サブファンドに係る費用

# お客様に直接ご負担いただく費用

クラスA受益証券	米ドル建て		円建て(為替へッ:	ジあり) *1
申込手数料	10万米ドル未満	<u>2.75%</u> *2	1,000万円未満	<u>2.75%</u> *2
	10万米ドル以上 30万米ドル未満	<u>2.20%</u> *2	1,000万円以上 3,000万円未満	<u>2.20%</u> *2
(申込金額に対して 右の料率を乗じて得た額)	30万米ドル以上 100万米ドル未満	<u>1.65%</u> *2	3,000万円以上 1億円未満	<u>1.65%</u> *2
	100万米ドル以上	<u>1.10%</u> *2	1億円以上	<u>1.10%</u> *2
換金(買戻し)手数料	原則としてかかりません。		原則としてかかり	ません。
クラスA受益証券	豪ドル建て(為替ヘッジあり)*1		NZドル建て(為替へ	ッジあり) *1
<b>申込手数料</b> (申込金額に対して (右の料率を乗じて得た額)	10万豪ドル未満	<u>2.75%</u> *2	10万NZドル未満	<u>2.75%</u> *2
	10万豪ドル以上 30万豪ドル未満	<u>2.20%</u> *2	10万NZドル以上 30万NZドル未満	<u>2.20%</u> *2
	30万豪ドル以上 100万豪ドル未満	<u>1.65%</u> *2	30万NZドル以上 100万NZドル未満	<u>1.65%</u> *2
	100万豪ドル以上	<u>1.10%</u> *2	100万NZドル以上	1.10%*2
換金(買戻し)手数料	原則としてかかりません。		原則としてかかり	ません。

- \*1 円建て、豪ドル建て、NZドル建ての受益証券は原則として為替ヘッジを行います。ただし、ジャナス・ハイイールド・ファンド(円建て、毎月分配型)は原則として為替ヘッジは行いません。
- \*2 上記申込手数料は税込の料率で、税率は当資料作成時点のものです。なお、税法が改正された場合には、税率等が変更される場合があります。
- ●米ドル建て、豪ドル建て、NZドル建てのクラス受益証券を円資金から米ドル、豪ドル、NZドルに 交換したうえでお申込みの場合、別途、為替手数料が片道1円/往復2円(上限)かかります。

## お客様に間接的にご負担いただく費用

### ●管理報酬等

該当するサブファンドの純資産総額に対し、以下の料率(年率)を上限として計算されます。

サブファンド	クラスA受益証券
ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド	年率1.20%
ジャナス・マルチセクター・インカム・ファンド	年率1.53%
ジャナス・ハイイールド・ファンド	年率1.55%
ジャナス・バランス・ファンド	年率1.85%
ジャナス・ストラテジック・バリュー・ファンド	年率1.98%
ジャナス・フォーティ・ファンド	年率1.98%
ジャナス・グローバル・ライフサイエンス・ファンド	年率1.98%
ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンド	年率1.98%

管理報酬等には、管理会社報酬、受益者サービス報酬、代行協会員報酬のほか、アンダーライイング・ファンドの資産から支払われる投資顧問報酬ならびにその他報酬および費用等も含まれます。

### ●その他の手数料等

### ① 保管受託会社の報酬

保管受託会社としての業務の対価として、1サブファンドあたり年額7,500米ドルの報酬が支払われます。 また、ファンドカストディサービス業務の対価として、各サブファンドの純資産総額の年率0.002%、および 証券取引毎に15米ドルの報酬が、該当するサブファンドの資産から支払われます。

### ② 管理事務代行会社の報酬

ファンド管理、会計および当ファンドに関連するサービスの対価として、1サブファンドあたり年額24,000米ドル(上限)の合計額相当の報酬が当ファンドの資産から支払われます。当該報酬は、各サブファンドの純資産総額に応じて比例配分されます。

### ③ 名義書換代理人の報酬

投資家サービス業務および名義書換業務の対価として、1受益証券クラスにつき年額325ユーロおよび 現地口座1名義につき年額45ユーロの業務費、ならびに取引毎に15ユーロ(上限)のその他の費用が 支払われます。

### ④ その他費用

ブローカー費用および銀行費用、監査人および弁護士費用、年次報告書・半期報告書・目論見書・申請書類等の印刷費用ならびに配布費用等が、当ファンドのサブファンドの資産から別途支払われます。

### ⑤ アンダーライイング・ファンドの費用

アンダーライイング・ファンドの管理事務代行会社の報酬、保管受託会社の報酬またはアンダーライイング・ファンドの設立、運用について発生したその他の費用が実費ベースでアンダーライイング・ファンドの資産から支払われます。

上記手数料、報酬および費用等は、それぞれ算出方法が異なるほか、投資家の皆様がサブファンドを保有される期間に応じて異なるため、これらを合計した料率もしくは上限等を表示することができません。詳細は投資信託説明書(交付日論見書)をご覧ください。

# ●管理会社:

ヘンダーソン・マネジメント・エスエー

●投資顧問会社:

ジャナス・キャピタル・インターナショナル・リミテッド

●総販売会社:

ジャナス・キャピタル・インターナショナル・リミテッドおよび ヘンダーソン・グローバル・インベスターズ・リミテッド

●保管受託会社:

J.P.モルガン・バンク (アイルランド) ピーエルシー

●管理事務代行会社:

J.P.モルガン・アドミニストレーション・サービシズ (アイルランド) リミテッド

●名義書換代理人:

インターナショナル・ファイナンシャル・データ・サービシズ (アイルランド) リミテッド

●代行協会員:

SMBC日興証券株式会社

●販売取扱会社:

株式会社SMBC信託銀行

●アンダーライイング・ファンドの副投資顧問会社:

ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシー パーキンス・インベストメント・マネジメント・エルエルシー\*<sup>1</sup> ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ (シンガポール) リミテッド\*<sup>2</sup> ヘンダーソン・グローバル・インベスターズ・リミテッド\*<sup>2</sup>

- \*1 ジャナス・ヘンダーソン・USストラテジック・バリュー・ファンドのみ。なお、当該アンダーライイング・ファンドの 副投資顧問会社であるパーキンス・インベストメント・マネジメント・エルエルシーは、2021年9月末に組織 改編でジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーに統合される予定であり、あわせて当該アンダーライイング・ファンドの受益者の同意及び規制当局の承認を条件として、同ファンドの名称がジャナス・ヘンダーソン・US・スモールーミッドキャップ・バリュー・ファンドに変更される予定です。
- \*2 ジャナス・ヘンダーソン・グローバル・リアルエステート・エクイティ・インカム・ファンドのみ

# SMBC信託銀行における投資信託取引に関する注意事項

- ●投資信託は銀行預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。また、SMBC 信託銀行で取扱う投資信託は金融商品仲介□座を通じた取扱いの場合を除き、 投資者保護基金の対象ではありません。
- 投資信託は、元本・利回りの保証はありません。
- ●米国税法上の米国人(米国市民、米国居住者またはグリーンカード保有者)は、 居住・非居住にかかわらず投資信託の取引申込みができません。また、非居住者 およびSMBC信託銀行への届出住所が日本国外のお客様についても同様となり ます。
- SMBC信託銀行の判断により、取扱いが停止となることがあります。くわしくは、 SMBC信託銀行にお問合せください。

# お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- 1. 当資料は、管理会社が作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。ジャナス・セレクション各受益証券の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ詳細をご確認願います。
- 2. お申込みの際には「外国証券取引口座約款」に基づき外国証券取引口座を 設定していただく必要があります。初めて外国証券をお買付けになるお客様 は、「外国証券取引口座約款」をお渡しいたしますので、よくお読みください。

当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成していますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容・数値・図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。